

誓いの言葉を述べる
西村理奈さん（中央）



豊の国商人塾に 34期生33人入塾

地域経済をリードする企業人を養成する「豊の国商人塾」の入塾式が9日、大分市のトキハ会館で開かれた。第34期生として33人が入塾した。

名誉塾長の広瀬勝貞知事が「塾での学びを通して、地域を支える人材へと育ってください」とあいさつ。入塾生を代表して西村理奈さん（45）トキハインダストリーが「高い志を持ち、新しい発想と行動力を養っていきます」と誓いの言葉。

塾頭の佐々木茂東洋大国際観光学部教授が「普段から社会的な問題に関心を持ち、仕事に取り組むことが大切」と激励した。

この後、第1回の講義があり、高崎経済大（群馬県）の大宮登名曹教授・元副学長が「これからの地域を豊かに生きる」循環型地域社会の構築」と題してオンラインで講演した。

商人塾は県商店街振興組合連合会が1987年から毎年開講。来年7月まで、著名な経営者らの講演などを通して経営を学ぶ。

（吉良政宣）